



案ずるより産むがやすし

あけましておめでとうございます

中国中央病院
産婦人科病棟
2024.1月号
VOL. 308

昨年もみなさま方に支えられ、充実した1年となりました。

たくさんの生命の誕生に立ち合わせていただき、多くの感動をいただきました。これからもみなさまに愛される病院となるよう、日々努力を重ねて参りたいと思います。本年もどうぞよろしく願いいたします。

わたしたち助産師は、入院中の分娩介助や母乳支援だけでなく、みなさまの妊娠・出産・育児を継続してサポートさせていただくため、外来妊婦相談室をはじめ、母親学級や助産師外来、産後2週間健診などを行っています。今回は、それぞれの内容についてご紹介します。

■外来妊婦相談室■

中待合にある相談室で妊婦相談を行っています。妊娠初期・中期・後期の3回は必ずお声がけさせていただいています。それ以外にも何回でも利用可能です。主に、健診結果の説明や妊娠中の生活、気を付けること、母乳育児、入院のタイミングについてお話します。些細なお悩み事でも構いません。ひとりで考えず助産師とお話しましょう。ご希望の方は産婦人科外来受付時に「相談室に行きたい」とお伝えください。



■助産師外来■

助産師が妊婦健診から妊婦相談までを行います。本人の希望があり、妊娠初期リスク自己評価表が3点以下で医師の許可がある場合に利用できます。エコーであかちゃんの様子も見てもらっています。助産師とお話ししながらリラックスして健診を受けることができます。ご興味がありましたら健診の際にお声がけください。



■母親学級■

当院では母親学級を前期・後期の2回行っています。前期（妊娠初期～中期）は主に妊娠に伴う身体の変化や栄養、過ごし方、母乳についてお話します。後期（中期～後期）では分娩に向けた心構えや過ごし方・エクササイズ、また分娩の動画を視聴しご自身のお産をイメージします。とくに初産婦さんは受講されることをお勧めしています。「案ずるより産むがやすし」で開催のお知らせをしています。

■産後2週間健診■

退院後、おうち育児が始まって約1週間。あかちゃんとわたし、これでいいのかな？と気づきが生まれる頃です。“健診”というと堅苦しいイメージもあるかもしれませんが、産後早期のおかあさんのこころとからだの健康を守るための健診です。授乳や育児の相談も行っています。あかちゃんの状態も確認しますので、あかちゃんと一緒にお越しください。



■ほかにも... ■

産後の電話訪問やおっぱい相談、院内助産も行っています。また、おかあさんやあかちゃんだけでなく近隣の中学校や高校へ出向き、性教育を行ったりもしています。



現在、産後2週間健診の充実を図るため、産後1か月健診に来られたおかあさんにアンケートのご協力をお願いしています。より、おかあさんの気持ちに寄り添ったケアが提供できるよう、みなさまのお声をお聴かせください。

あなたのお産を支える助産師

経験豊かな助産師*がおかあさんとあかちゃんを手助けし、サポートしていきます。

※日本助産評価機構が分娩管理に関する一定の基準を満たした助産師を「アドバンス助産師」として認定する制度があります。

産科病棟には5名のアドバンス助産師が在籍しています。



安心して分娩でき、退院後の育児生活があなたらしく過ごせるよう、助産師がサポートいたします。 編集担当：久保田

母親学級のお知らせ



	前期	後期
1月	17日	10日、24日
2月	7日	14日、28日
	講堂 AB	13:30～

産婦人科外来予約用紙
にご記入ください